

H28年度における 網走川ほか 減災に関する取組み

網走川ほか 減災に関する取組方針 フォローアップ

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H28年取り組みの状況	H29年以降の取り組み内容		
					H28	H29	H30	H31	H32	H33				
迅速かつ 確実な避難行動のための取組	危機管理型ハード対策	国管理区間 ・堤防天端の保護 (岩富地区、本郷地区、美幌川左・右岸地区) ・堤防法尻の補強 (美幌川左・右岸地区)	H32年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	[天端保護] 本郷地区、美幌川右岸 [法尻保護] 美幌川右岸	[天端保護] H29:美幌川左・右岸 H30:岩富、美幌川左岸 [法尻保護] H29:美幌川右岸	
		北海道管理区間 ・堤防天端の保護箇所の検討と実施	H33年度までに実施	振興局		■	■	■	■	■	■		・堤防天端の保護箇所の検討と実施	
	避難情報等伝達機器の整備	要配慮者や観光客、集落分散地区の居住者にも確実に情報を伝えるため防災行政無線などの情報伝達機器の整備検討	H28年度から実施	網走市	■	■	■	■	■	■	■	・現在防災無線の改良のための調査	・現行移動系防災無線改良等のための調査研究(H29予定) ・防災ラジオの導入検討(同報系) ・IP無線の導入検討(移動系)	
				大空町	■	■	■	■	■	■	・現在防災無線の改良のための調査	・防災無線の更新・改良など機器の整備検討		
				美幌町	■	■	■	■	■	■	・全世帯にLEDライト付ラジオを計画的に配布	・引き続き29年までに配布する ・防災無線更新の調査・検討 ・H30以降、新規転入者等への継続配付の実施検討		
				津別町	■	■	■	■	■	■	・現在防災無線の改良のための調査	・現在防災無線の改良のための調査		
	避難情報等伝達機器の整備	停電時や夜間において確実に避難情報を伝えるための情報伝達方法の検討	H29年度から実施	網走市		■	■	■	■	■	■		・停電時や夜間における避難情報を伝えるための検討	
				大空町		■	■	■	■	■	■		・停電時や夜間における避難情報を伝えるための検討	
				美幌町		■	■	■	■	■	■		・停電時や夜間における避難情報を伝えるための検討	
				津別町		■	■	■	■	■	■		・停電時や夜間における避難情報を伝えるための検討	
	ソフト対策	洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握	想定最大規模の降雨による浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、破堤点別洪水浸水想定区域図(浸水ナビ)の公表	H28年度	網走開建	■	■	■	■	■	■	・平成28年11月30日 告示公表済み ・浸水ナビはH29年3月を目途に整備中		
				H33年度までに実施	振興局		■	■	■	■	■	■		・平成29年度中に、水位周知河川である魚無川について公表予定 ・その他の支川についても簡易的な手法を用いて、計画的に実施する予定
		洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握	想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づき、浸水深や長期浸水時間を考慮した避難場所や避難経路の見直し、ハザードマップの作成、まるごとまちごとハザードマップの整備検討	H33年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・市町のハザードマップ作成のための支援を実施(美幌町、網走市)	・引き続き支援を実施していく予定
					气象台		■	■	■	■	■	■		・必要に応じて支援など行う
					振興局		■	■	■	■	■	■		・必要に応じて支援など行う
網走市					■	■	■	■	■	■	・既存防災ガイドブックの転入者等への追加配布	・洪水浸水想定区域に基づく水害ハザードマップの見直し(H29予定)		
大空町					■	■	■	■	■	■	・既存の生活安心ガイドブックの全戸配布 ・防災のしおり、防災ハザードマップの作成及び町内全戸に配布	・洪水浸水想定区域に基づく水害ハザードマップの見直し(H29予定)		
美幌町					■	■	■	■	■	■	・新たに防災情報を盛り込んだ「暮らしと防災ガイドブック2017」を作成。 (上記ガイドブックに洪水浸水想定区域に基づくハザードマップを中綴じ)	・H29.4月に全戸配付済。		
津別町	■	■	■	■	■	■	・既存防災ガイドブックの転入者等への追加配布	・洪水浸水想定区域に基づく水害ハザードマップの見直し						
ソフト対策	土地勘のない観光施設利用者が確実に避難場所までたどり着けるための避難誘導手法の検討	H33年度までに実施	網走市		■	■	■	■	■	■		・避難誘導手法の検討を行う		
			大空町		■	■	■	■	■	■		・避難誘導手法の検討を行う		

網走川ほか 減災に関する取組方針 フォローアップ

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H28年取り組みの状況	H29年以降の取り組み内容	
					H28	H29	H30	H31	H32	H33			
迅速かつ 確実な避 難行動の ための取 組	ソフト 対策	洪水に対 してリスクの 高い箇所と、 避難場所・避 難経路の把 握 円滑な避難行動のため、道 路管理者との連絡体制網の構築	H28年度 から 実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・流域関係機関に冠水する恐れのある道路等のリスト 聞き取り調査を実施中(2月～3月)	・流域関係機関で共有できる資料の整理を行う予定 ・今後、必要に応じて見直しを行っていく
				振興局	■	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・網走開発建設部と連携し、資料整理を図る
				自衛隊	■	■	■	■	■	■	■		・共有を図る
				北海道 警察	■	■	■	■	■	■	■		・共有を図る
				網走市	■	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る
				大空町	■	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る
				美幌町	■	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る
				津別町	■	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る
				網走 消防組合	■	■	■	■	■	■	■	・構成市町(網走市・大空町)と共有を図る ・H28出水では、住民が河川の水害リスクを理解し 的確な避難行動を取るため「適切な避難場所の確保」と 「避難勧告等の発令」(市町体制補充)を行った。ま た、河川情報等の適時的確な提供を行った。	・引き続き継続実施する。
				美幌津別 広域組合	■	■	■	■	■	■	■	・構成市町(美幌町・津別町)と共有を図る	・資料整理への協力と共有を図る
避難情 報、警報等 をわかりや すく、適切 なタイミン グで確 実に伝達 するための 取組	メール・テレビ・ラジオ・サイ レン等、多様な手段を用いた避難 情報発信体制の強化及び近隣住 民同士での連絡体制等の人的 ネットワーク(自主防災組織等) の構築	引き続き 実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・スマートフォンによるリアルタイム情報提供を実施	・H29年度末までにプッシュ型情報配信を実施予定	
			網走市	■	■	■	■	■	■	■	・自主防災組織の結成促進 ・メール配信サービスの利用促進(登録制) ・既存防災ガイドブックの転入者等への追加配布	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信 サービスの利用促進(登録制)を図る ・ハザードマップの見直しに伴う新しい防災ガイドブ ックの作成・配布(H32までに配布予定)	
			大空町	■	■	■	■	■	■	■	・自主防災組織結成促進(パンフレット作成) ・避難行動要支援者名簿の作成 ・生活安心ガイドブックの全戸配布 ・メール配信サービスの利用促進(登録制)	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信 サービスの利用促進(登録制)を図る ・ハザードマップの見直しに伴う新しい防災ガイドブ ックの作成・配布(H29年度作成予定)	
			美幌町	■	■	■	■	■	■	■	・自主防災組織結成促進 ・メール配信サービスの利用促進(登録制) ・防災ガイドブックの更新	・引き続き自主防災組織の結成促進 ・防災ガイドブック(2017)の全戸配付住 ・防災リーダー、防災マスターの養成、町は防災士の 養成を図り、日頃から地域との連携を図る。	
			津別町	■	■	■	■	■	■	■	・自主防災組織の結成促進 ・避難行動要支援者名簿の作成 ・メール配信サービスの利用促進を図る(登録制)	・引き続き自主防災組織の結成促進を図る	
			網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・洪水予報伝文の改良済み ・「避難勧告等の判断・伝承マニュアル作成ガイドラ イン」(平成27年8月)を平成29年1月に改定		
	完了												
	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・洪水予報伝文の改良済み ・新たなステージに対応した防災気象情報の改善につ いて、H29出水期前の運用開始に向け作業中	・H29出水期前に新たなステージに対応した防災気 象情報の改善の運用開始			
	H29年度 までに 実施	気象台	■	■	■	■	■	■	■				

網走川ほか 減災に関する取組方針 フォローアップ

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H28年取り組みの状況	H29年以降の取り組み内容	
					H28	H29	H30	H31	H32	H33			
迅速かつ 確実な避難行動のための取組	ソフト対策	住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、及び網走川流域の水害特性を踏まえた広報活動を実施する	引き続き実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・各自治体等主催の訓練等に参画(美幌町、大空町の訓練に参加) ・今夏出水についてHPで広報	・引き続き関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参画
				气象台	■	■	■	■	■	■	■	・各自治体等主催の訓練等に参画	・引き続き関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参画
				振興局	■	■	■	■	■	■	■	・各自治体等主催の訓練等に参画	・引き続き関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参画
				自衛隊	■	■	■	■	■	■	■	・各自治体等主催の訓練等に参画	・引き続き関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参画
				北海道警察	■	■	■	■	■	■	■	・各自治体等主催の訓練等に参画	・引き続き関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参画
				網走市	■	■	■	■	■	■	■	・住民参加の防災避難訓練(土砂災害)の実施 ・学校・幼稚園・保育園における避難訓練(津波)の実施	・住民参加による水災害に関する防災訓練(避難訓練や図上訓練等)、水災害に関する講習会等の実施に向けた関係機関との調整(H29予定)
				大空町	■	■	■	■	■	■	■	・水防合同訓練の実施 水防工法(釜段工法、月の輪工法、積土嚢工法)・大空町防災訓練(災害対策室設置 ・情報伝達・避難訓練・防災講演・炊き出し体験など)	・水防合同訓練を今後も引き続き実施 ・住民参加による水災害に関する防災訓練(避難訓練や図上訓練等)、水災害に関する講習会等の実施に向けた関係機関との調整
				美幌町	■	■	■	■	■	■	■	・水害を対象とした防災避難訓練の実施(美幌地区) ・自治会を対象に出前講座を実施 ・自治会役員、防災マスター等を対象にHUG北海道版を実施。 ・学生・防災マスターを対象とした防災キャンプをH29.3に実施。 (冬期間の避難生活1泊体験) ・避難所開設訓練や防災避難訓練を実施	・今後も引き続き実施
				津別町	■	■	■	■	■	■	■	・自治会を対象に防災出前講座の実施	・今後も引き続き実施 ・住民参加による水災害に関する防災訓練(避難訓練や図上訓練等)、水災害に関する講習会等の実施に向けた関係機関との調整
				網走消防組合 美幌津別広域組合	■	■	■	■	■	■	■	・各自治体等主催の訓練等に参画 ・各自治体等主催の訓練等に参画	・引き続き関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参画 ・引き続き関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参画
迅速かつ 確実な水防活動のための取組	ハード対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策	国管理区間 ・河道掘削(本郷地区、美幌右岸地区) ・浸透対策(美幌左岸地区)	H32年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	[浸透対策] 美幌川左岸	[河道掘削] 本郷地区、美幌右岸
			北海道管理区間 ・河道掘削(網走川上流、駒生川、サラカオーマキキン川) ・浸透対策(女満別川) ・適切な河道の維持管理(河道掘削、伐木等)	H33年度までに実施	振興局	■	■	■	■	■	■	■	[堤防質的整備] 女満別川 [河道掘削] サラカオーマキキン川
	監視体制の強化	網走川のほか中小河川など、上流部の河岸侵食危険箇所や湖周辺の観光地等、水害リスクの高い箇所の状況が把握できるよう、CCTVカメラや簡易水位計等機器の調査検討・整備を行う	H33年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・水害リスクの高い箇所に水位計を設置(KP20.2左岸(治水橋)) ・水位計設置箇所の検討と簡易水位計の購入	・引き続き、計画的に水害リスクの高い箇所に水位計を設置 ・補充水位観測所における水位予測の明確化について検討を行う
				振興局	■	■	■	■	■	■	■		・簡易水位計等機器の調査検討・整備を行う
			H33年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・現況の水防備蓄量の確認を実施 ・新技術の資材等調べ	・水防拠点や備蓄基地について必要性の検討及び配置の検討を行う
				振興局	■	■	■	■	■	■	■		
水防活動の資機材整備	資機材運搬時間の短縮を図るため、水防資機材の備蓄基地等の配置検討や、資機材量及び新技術を活用した資機材導入の検討・配備	H33年度までに実施	自衛隊	■	■	■	■	■	■	■	・防災装備品を計画的に整備している	・引き続き、計画的に整備予定	
			網走市	■	■	■	■	■	■	■	・防災装備品を計画的に整備	・必要に応じて資機材導入を検討(随時)	
			大空町	■	■	■	■	■	■	■	・大空町自主防災組織活動補助金交付要綱を制定(防災敷材整備、自主防災組織活動支援)	・引き続き、防災資機材整備、自主防災組織活動支援していく	
			美幌町	■	■	■	■	■	■	■	・水害用備蓄品の整備(ボート、救命胴衣など) ・各指定避難所へ資機材等保管用倉庫及び必要備蓄品の常設設置(計画的に実施) ・備蓄品の分散備蓄を実施。 (高台施設への備蓄品移動) ・美幌町自主防災資機材等購入補助金交付要綱を制定(防災資機材・倉庫整備支援)	・各避難所へ倉庫及び備蓄品の常設設置を計画的に整備 ・H29から協定先の福祉避難所へ備蓄品の常設設置を実施予定 (簡易ベッドのほかストレッチャーや歩行器などの福祉用具を備蓄予定)	

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H28年取り組みの状況	H29年以降の取り組み内容	
					H28	H29	H30	H31	H32	H33			
迅速かつ 確実な水 防活動の ための取 組	ソフト 対策	毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施する	引き続き 実施	網走市	■	■	■	■	■	■	■	関係機関と一体となって共同点検を実施	関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定
				大空町	■	■	■	■	■	■	■	関係機関と一体となって共同点検を実施	関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定
				美幌町	■	■	■	■	■	■	■	関係機関と一体となって共同点検を実施	関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定
				津別町	■	■	■	■	■	■	■	関係機関と一体となって共同点検を実施	関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定
				網走 消防組合	■	■	■	■	■	■	■	水防連絡協議会において重要水防箇所の情報を把握 共同点検は未実施	関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定
				美幌津別 広域組合	■	■	■	■	■	■	■	水防連絡協議会において重要水防箇所の情報を把握 共同点検は未実施	関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定
				網走開建	■	■	■	■	■	■	■	各自治体等主催の訓練等に参画 (大空町の訓練に参加)	引き続き関係機関主催の訓練等に参画
		气象台	■	■	■	■	■	■	■	各自治体等主催の訓練等に参画	引き続き関係機関主催の訓練等に参画		
		振興局	■	■	■	■	■	■	■	各自治体等主催の訓練等に参画	引き続き関係機関主催の訓練等に参画		
		自衛隊	■	■	■	■	■	■	■	各自治体等主催の訓練等に参画	引き続き関係機関主催の訓練等に参画		
		北海道 警察	■	■	■	■	■	■	■	各自治体等主催の訓練等に参画	引き続き関係機関主催の訓練等に参画		
		網走市	■	■	■	■	■	■	■	×	近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行う(H29予定)		
		大空町	■	■	■	■	■	■	■	水防合同訓練の実施 水防工法(釜段工法、月の輪工法、積土糞工法)・大空町防災訓練(災害対策室設置 情報伝達・避難 訓練・防災講演・炊き出し体験など)	水防合同訓練を今後も引き続き実施		
		美幌町	■	■	■	■	■	■	■	×	近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行う		
		津別町	■	■	■	■	■	■	■	×	近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行う		
		網走 消防組合	■	■	■	■	■	■	■	各自治体等主催の訓練等に参画	引き続き関係機関主催の訓練等に参画		
		美幌津別 広域組合	■	■	■	■	■	■	■	各自治体等主催の訓練等に参画	引き続き関係機関主催の訓練等に参画		
		リーフレットやHPを通じ、水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集を行うとともに、水防協力団体の募集・指定を促進する	H28年度 から 実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	リーフレットやHPを通じ、水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集を行う 減災協議会で水防協力団体の説明を実施	引き続き継続実施	
				振興局	■	■	■	■	■	■	ポスター掲示やリーフレット配布を通じ水防活動の担い手となる水防団員の募集を行う。	引き続き継続実施	
				網走市	■	■	■	■	■	■	消防組合と連携し、市広報紙やHPを通じて水防団員(消防団員)を募集(随時)		
				大空町	■	■	■	■	■	■		今後も関係機関と連携し促進を図る	
				美幌町	■	■	■	■	■	■		今後も関係機関と連携し促進を図る	
				津別町	■	■	■	■	■	■		今後も関係機関と連携し促進を図る	
				網走 消防組合	■	■	■	■	■	■	水防団員(消防団員)、水防協力団体の募集・指定の促進を図る。	引き続き募集活動を実施	
		美幌津別 広域組合	■	■	■	■	■	■	組合ホームページ・町広報紙・ポスターの掲示等により水防活動の担い手となる消防団員の募集活動を実施	引き続き募集活動を実施			

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H28年取り組みの状況	H29年以降の取り組み内容					
					H28	H29	H30	H31	H32	H33							
ハード対策	排水活動の資機材整備	排水ポンプ車等、排水活動に必要な資機材の整備検討	H28年度から実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関に対して保有箇所・状況の聞き取り調査を実施中(2月～3月)	・流域関係機関で共有できる資料の整理を行う予定 ・今後、必要に応じて見直しを行っていく			
				自衛隊	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・共有を図る		
				網走市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・共有を図る		
				大空町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・共有を図る ・釜場の電源整備、排水ポンプ購入予定 (H29年度整備予定)		
				美幌町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・直轄樋門釜場に需用電源の常設整備 ・各樋門にポンプ増設(全6台)	・必要に応じて整備を図る ・釜場(日の出)に電源の常設置置予定 (H29新年度にポンプ7台購入予定)		
				津別町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・災害用資機材の充実	・必要に応じて整備を図る		
				網走消防組合	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・必要な資機材の検討・整備をする	・必要に応じて整備を図る		
				美幌津別広域組合	■	■	■	■	■	■	■	■	■	×	・必要に応じて整備を図る		
		排水活動を行うスペースの整備検討	H28年度から実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	■	×	・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討			
				振興局	■	■	■	■	■	■	■	■	×	・道区間における浸水等氾濫実績を把握し、必要な排水活動のための検討を行う			
		ソフト対策	排水活動の体制強化	各機関での排水資機材整備状況の情報共有、資機材搬入経路と想定排水箇所の設定、排水機場の操作要領見直し検討を行い、流域全体での排水計画の作成	H29年度から実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	■	・流域関係機関が保有する排水資機材の聞き取り調査を実施中	・水害時における浸水の影響を軽減し社会経済活動の早期再開に資するべく、効果的かつ効果的な排水計画策定のための検討を実施し、策定する	
						振興局	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・網走開発建設部と連携し整理を図る
						網走市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る
						大空町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る
美幌町	■					■	■	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る		
津別町	■					■	■	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る		
排水ポンプ車等を使用した、関係機関共同での排水訓練の実施	引き続き実施					網走開建	■	■	■	■	■	■	■	■	・引き続き計画的に継続実施 H28:北見地区、美幌地区、湧別地区で実施(10回開催)	・引き続き計画的に継続実施 場所は未定、今後は流域関係機関へも声かけを実施	
						振興局	■	■	■	■	■	■	■	■	■		・ポンプ排水訓練に参画
				網走市	■	■	■	■	■	■	■	■	■		・ポンプ排水訓練に参画		
				大空町	■	■	■	■	■	■	■	■	■		・ポンプ排水訓練に参画		
				美幌町	■	■	■	■	■	■	■	■	■		・ポンプ排水訓練に参画		
				津別町	■	■	■	■	■	■	■	■	■		・ポンプ排水訓練に参画		
網走消防組合	■			■	■	■	■	■	■	■	■	・ポンプ排水訓練に参画する。 当組合所有資機材の取り扱い訓練を定期的実施	・ポンプ排水訓練に参画				
美幌津別広域組合	■			■	■	■	■	■	■	■	■	・共同訓練なし 当組合所有資機材の取り扱い訓練を定期的実施	・ポンプ排水訓練に参画				

**網走川の減災に係る取組方針に基づく
これまでの取組状況について**

【網走開建、振興局】北海道における災害時等の相互協力に関する細目協定の締結

網走開建とオホーツク総合振興局において、災害時の相互協力に関する連携強化のため、細目協定を締結しました。災害が発生し、又はおそれのある場合の北海道開発局、北海道及び札幌市の相互協力を円滑に行うことを目的として平成28年12月に北海道開発局、北海道及び札幌市により「北海道における災害時等の相互協力に関する協定」が締結されたことを期に、より一層の連携強化を図るため、各部局間において細目協定が締結されました。

相互協力に関する細目協定の締結について

・網走開発建設部及び振興局は、網走管内における細目協定を平成29年3月7日に締結しました。



協定 調印の様子 平成29年3月7日



北海道開発局、北海道、札幌市の
協定調印の様子 平成28年12月9日
(北海道開発局HPより)

【相互協力に関する細目協定の目的と内容】

目的:各機関の相互協力、連携強化により、災害発生
又はおそれのある場合に、被害の拡大防止及び
二次災害防止並びに被害施設の早期復旧等に
資することを目的としています。

協定の内容

被害状況の把握、応急復旧等の実施に係わる建設資機材の貸与や職員
の派遣に関する協力を行うとともに、平常時から緊急時の連絡体制及び保有
する建設資機材に関する情報交換、災害時の要請が輻輳した場合の調整

細目協定締結について

災害対応時の具体的な必要事項(管轄区域や協力要請の手続き等)を定めました。

「北海道における災害時等の相互協力に関する協定」

平成28年12月9日、北海道開発局、北海道及び札幌市により締結された協定を主軸に、全
道の開発建設部及び振興局において、具体的な細目協定を締結し、より一層の連携強化を
図っています。



関係機関では、各機関が連携して大規模な氾濫の発生に備え、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進する「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。(参考)網走開建HP:<http://www.hkd.mlit.go.jp/ab/tisui/v6dkjr00000000cf.html>

【網走開建、気象台、振興局】要配慮者利用施設への説明会について

昨年の一連の台風などの豪雨災害を踏まえ、国土交通省、厚生労働省及び各自治体が連携し、要配慮者利用施設管理者に向けた河川情報等への理解を深めていただくための説明会が全国で開催され、このたび、網走管内においても開催されました。

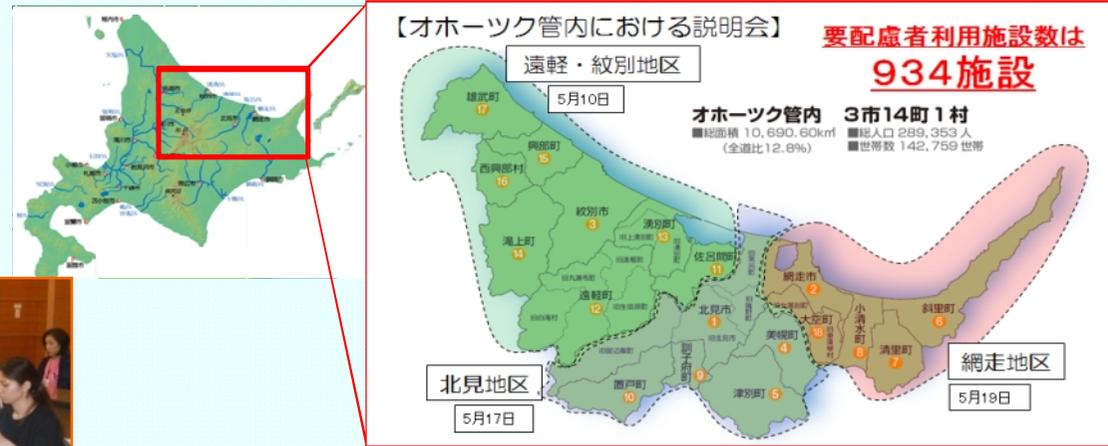
要配慮者など災害弱者の避難を、地域社会全体で連携支援し、確実な避難の実現のため、洪水や土砂災害リスクの高い区域に存する要配慮者利用施設については、避難確保計画作成及び避難訓練の実施が義務化されています。

要配慮者利用施設への説明会開催状況

- ・ 網走管内における説明会を、網走地区、北見地区、遠軽・紋別地区の3地区で開催。

【開催状況】

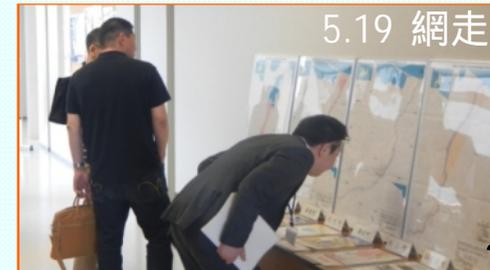
平成29年5月10日 遠軽・紋別地区
 平成29年5月17日 北見地区
 平成29年5月19日 網走地区



【説明会の開催背景】

平成27年9月関東・東北豪雨や平成28年8月台風10号等では、**逃げ遅れによる多数の死者や甚大な経済損失が発生**
「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を実現するため、**同様の被害を二度と繰り返さない『抜本的な対策』**が急務

【以上の背景を踏まえ、国土交通省、厚生労働省、各自治体が連携して、施設管理者に対して水害・土砂災害時における適切な避難行動についての理解を深めていただくことを目的とした説明会を全国で開催】



～ 個別地区を対象に、河川水位上昇を想定した避難訓練を実施～

水防災意識再構築ビジョンの取組として、網走川減災対策協議会が設置されたことを踏まえ、平成28年度は美幌川の水位が上昇して、内水常襲地帯である美幌町美芳地区に避難指示が発令されたことを想定した訓練が実施されました。

美幌町では町内の自主防災組織（自治会）を4つにブロック分けし、地震などの各種大規模災害に備えた避難訓練や 消防訓練が実施されていますが、個別地区を対象とした水防災に関する訓練を推進しております。

従前の訓練に参加していた町・消防・警察・自衛隊に加え、美芳地区での訓練より气象台・開発局も参加しました。今後、協議会での取組の一環として、同様の取組を実施する地区を拡大していく予定です。

防災避難訓練の様子



バスによる避難訓練を実施



対策本部の様子



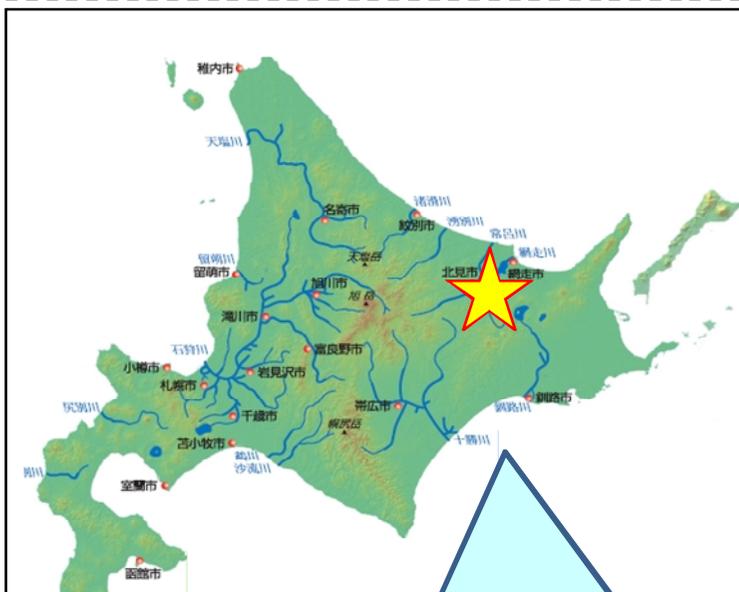
地域住民が避難訓練に参加



避難所の小学校の様子



洪水や治水事業のパネルを展示



美幌町防災避難訓練の概要

実施日：平成28年8月20日（土）

場 所：美幌町東陽小学校

対 象：美芳地区住民（46名）

【網走川】自主防災組織の活動を後押し(大空町)(ソフト対策、避難・水防)

◆ 網走川減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づいたソフト対策における取組となる、水防活動体制の一翼を担う自主防災組織活動について自主防災組織活動補助金交付要綱を制定及び告示し、設置促進と育成強化を図っています。

大空町自主防災組織活動補助金交付要綱抜粋(大空町HPより)

大空町自主防災組織活動補助金交付要綱

平成28年3月28日 告示第16号
(平成28年4月1日施行)

条項目次 沿革

体系情報

第3編 執行機関/第1章 町長/第7節 災害対策

沿革情報

◆平成28年3月28日 告示第16号

○大空町自主防災組織活動補助金交付要綱

平成28年3月28日
告示第16号

(目的)

第1条 この告示は、災害対策基本法(昭和36年法律第223号)第5条第2項の規定及び大空町地域防災計画に基づき、自主防災組織が防災活動を行う上で必要な防災資機材の整備等に要する経費に対して、予算の範囲内において補助金を交付することにより、町内の自主防災組織の設置促進と育成強化を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 自主防災組織とは、自治会等を単位として、自主的に当該地域の防災対策を確立するために、次の各号に掲げる活動を行う団体をいう。

- (1) 防災知識の普及
- (2) 地域内の防災環境の確認
- (3) 防災資機材の整備
- (4) 防災訓練の実施
- (5) 災害発生時における情報の収集、伝達、救出活動、初期消火活動、避難誘導、避難所での給食・給水活動に係る協力等
- (6) その他自主防災組織の目的を達成するために必要な事項(設立の届出)

別表第1(第3号関係)

区分	品名
(1) 防災資機材整備事業	防災ベスト、ヘルメット(安全帽)、簡易呼吸器、簡易消火器、簡易ポンプ、簡易照明、コードバール、サント、防水シート、靴、帽子、手袋
(2) 防災資機材更新事業	防雨機材、トランシーバー、メガホン(電池式)、警笛
避難生活用具	簡易器具、毛布、仮設トイレ、毛布、簡易ベッド、簡易トイレ、炊飯調理、行楽ストーブ、非常食(缶詰)、飲料水、トイレットペーパー、その他避難生活に必要な資機材
防災用具	可燃物シリンダー、防雨シート、簡易トイレ、簡易調理器具、簡易トイレ、簡易調理器具
救出用具	救助器具セット、梯子、突板、ハンマー、シャベル、チェーンソー、カシメ、簡易、スコップ、ツルハシ、カッター、のこぎり、安全帯(ハーネス)、救助ロープ
救急用具	救急セット、担架、おんぶ器
防災給水用具	鍋、やかん、かまど、こんろ、なた、簡易トイレ、簡易トイレ(簡易トイレ)、浄水器、折りたたみ式、大型折りたたみ式、給水機、炊飯器
その他防災資機材	町長が別に必要と認められたもの
船舶用具	物質

別表第2(第3号関係)

事業名	活動名	活動内容
(1) 自主防災組織活動支援事業	防災研修会等の開催	防災に関する知識の普及、普及啓発を図るため、防災研修会や講演会等を開催する。地域の行事として防災イベントを実施する。
	防災訓練の作成	地域内の危険箇所等を点検し、防災マップ・防災訓練を作成する。
	防災訓練の実施	自主防災組織単位に防災訓練を実施する。 ・初期消火訓練、避難誘導訓練、救出・救急訓練、給食・給水訓練、情報伝達・伝達訓練など
	防災マップの作成	地域内の危険箇所の確認
	その他、地域の防災対策の強化を図る活動	上記のほか、地域の防災活動を促進するための活動を行う。



・関係機関:大空町
・告示年月日:平成28年3月28日

・内容:
自主防災組織が防災活動を行うために必要な資機材の整備等に要する経費について、補助金を交付して、自主防災組織の設置促進、育成強化・活動促進を行い、各地域の防災対策の確立を目指す。

網走川では関係機関が連携し、大規模な氾濫の発生に備え減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進する「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。

(参考) 網走開建HP : <http://www.hkd.mlit.go.jp/ab/tisui/v6dkjr0000000cf.html>

【網走川】ハザードマップの作成と公表（美幌町）

洪水ハザードマップの見直し、防災ガイドマップ作成による水害リスク情報の周知とともに、防災意識の啓発を継続的に実施していきます。

想定最大規模の降雨による浸水想定区域図（直轄区間H28.11月公表）に基づき、美幌町では、新たなハザードマップを作成（防災ガイドマップ）し、浸水範囲や緊急避難場所、避難所を設定し、地域住民に周知しています。

今後、ガイドマップを活用した訓練等により、災害時の危険箇所や避難所の位置などを事前に把握するなど、リスク情報の周知とさらなる防災意識の向上を図っていきます。

